

講演内容の紹介

京都府では自作の「京都府学力診断テスト」を、平成3年度（中学校2年は平成15年度）から始め、途切れずに実施しています。京都府の小学校4年生と中学校1、2年生のほぼ全員が参加するこの学力診断テストは、教育委員会や学校が学力の把握と指導の改善に活用しています。目指すところは、質の高い学力をはぐくむことです。

本講演では、学力診断テストの結果をもとに、算数・数学科におけるつまずきの例を紹介するとともに、指導の改善例を紹介します。皆さんと一緒にこれからの算数・数学科教育の在り方について語り合えたらと思っています。

講演テーマ

京都府小・中学生の
算数・数学の学力を見る/観る/診る

講演者

平山孝次 氏

(京都府総合教育センター 研究主事兼指導主事/
京都教育大学大学院 連合教職実践科 准教授)

日時

2016年 11月28日 (月)

13:00 ~ 14:00 平山孝次先生 講演

14:00 ~ 14:20 質疑応答

場所

京都教育大学 藤森キャンパス

共通講義棟 F棟 F26教室

対象

京都教育大学学生・教職員

※ご関心をお持ちの方はどなたでもご参加ください (無料)

司会

黒田恭史 (京都教育大学教授)

第2回 「これからの算数・数学教育を考える会」